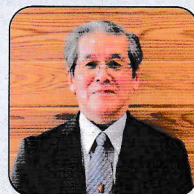




生活支援のご報告

三方原地区社協 会長 富永厚平

三方原地区社会福祉協議会では、2年前より草取りやゴミ出しを中心とする「家事支援」に送迎サービスの「移動支援」を加え、それまでの「家事支援部会」を「生活支援部会」と改称しました。以来、今までの家事支援も年間約1000件に達し、移動支援も予定よりほぼ倍増して、今年度は850件余となる見込みとなりました。およそ1850件の依頼を70名余りの支援員の活動により、利用者の期待に添えてきています。移動支援は運転ボランティアの数に限りがあり、利用者の皆さんには、週1回程度の利用でお願いしています。支援希望者は毎週増え続けています。高齢化社会の波が急速に広がっていく様子が感じられます。皆様方にも賢く利用していただくと共に、支援するボランティアも高齢者であることをご理解願います。地域の皆さんがいつまでも健康で、元気に活動できるお手伝いができればと思っています。



第2回家事支援協力員研修会

令和7年11月7日 三方原協働センター 2階講座室



研修会会場



各グループでミーティング



研修会総括

家事支援協力員募集中!

《ご相談・お問い合わせ先》

三方原協働センター・ボランティアルーム

毎週火曜日 9時～12時

電話・FAX 053-439-0865



家事支援協力員の皆さん

～～ 本号の内容 ～～

1面▶ 生活支援のご報告

1面▶ 家事支援協力員研修会

2面▶ 三方原小学校 原っ子タイム

2面▶ 天竜エコテラス施設見学会

3面▶ 2025三方原協働センターまつり

3面▶ 三方原地区社協今後の活動予定

4面▶ 地域の活動紹介

4面▶ 編集後記



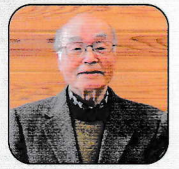
三方原小学校 原っ子タイム

第1回 令和7年12月10日 第2回 令和8年2月25日



三方原地区社協 相談役 小倉一夫

今年で4回目になる三方原小学校の総合学習授業「原っ子タイム」が、12月と2月に行われました。当地区社会福祉協議会と小学校区のシニアクラブから約50名が参加し、4年生の子供たちと交流しました。



授業では、班別に分かれた子供たちから、予め話し合っただけの質問に答えました。続いて全員が二重の輪になって三方原音頭の踊りを練習しました。『やさしさを手から手へ』～「自分にできる福祉を实践しよう」～のテーマを地域のお年寄りと交流することから何かを学ぼう、自分にできる福祉は何か？を見つけようとしています。「地域のすべての人たちと地域のことを考える」という当地区社協の目的に沿っているこの学校の子供たちとの交流が、この先も地域の伝統になっていくことを願っています。



皆さんよろしくお願いいたします!!



地域の皆さんとの話し合い



三方原音頭の練習



浜松市天竜エコテラス施設見学会

(浜松市天竜清掃工場) 令和8年2月12日



天竜エコテラス

施設見学研修会が久しぶりに行われました。今回は24名の参加者で天竜区の「天竜エコテラス」というごみ処理施設を見学しました。この施設では、集められた燃えるごみを1800度の高温で熔融し、スラグとメタルに分けて資源化します。埋設しなければならない最終の飛灰（ひばい）が、持ち込んだごみの僅か3%にまで減らすことが出来るとのことでした。2024年4月から稼働した新しいこの施設では、多くの作業を中央制御室の監視と制御のもと行っています。作業から出るにおいも、気圧のカーテンなどで見学場所ではほとんど感じられないなど、作業員や環境にも配慮されていました。ただ、プラスチックごみの分別では人の手で行われている部分もあります。流れ作業を見ながら説明を受け、ごみそのものを減らすことや、一人ひとりが決められたルールを守っていくことの必要性を改めて感じた見学会でした。



施設の説明



プラ容器包装クレーン



各処理施設を見学



参加者の皆さん

2025 三方原協働センターまつり

令和7年12月14日(日)、小雨が降る中で「三方原協働センターまつり」が開催されました。足元の悪い中にもかかわらず、多くの皆様にご来場いただきありがとうございました。

今回のセンターまつりは、体育館の芸能発表がどこの位置からも見えるように展示パネルの位置を変更しました。どの場所からもステージが見られて「展示・体験ブース」と「ステージイベント」に一体感が生まれました。また、出店者も多かったことから外に飲食ブースを用意しましたところ、雨が上がった頃からご利用いただきました。

三方原協働センターまつりは、地域の皆様とセンターの利用者さんとの交流の場でもあります。皆様に楽しんでいただけるように毎年工夫して開催しますので皆様次回も是非ご来場ください。



浜松北地域まちづくり協議会 会長 波多野千津子

屋外会場



ステージイベント



体験ブース



展示ブース



三方原地区社会福祉協議会 今後の活動予定

令和8年4月18日(土) 三方原地区社協定期総会 13:30～15:30 三方原協働センター
令和8年6月22日(月) 歌声広場 10:00～12:00 三方原協働センター

三方原地区社会福祉協議会のホームページでもお知らせ欄において今後の活動予定を配信しています。また、天候等により催し物が中止または延期になった場合は、その都度お知らせしていきますのでどうぞご覧ください。

三方原地区社会福祉協議会



地域の活動紹介

防災関連講座

三方原地区コミュニティ協議会 主催

いつ発生するか分からない災害への備えは大丈夫でしょうか。三方原は地盤が堅牢といわれ、しかも崖崩れ等の危険性もないことから、私を含めて地域の皆様の防災に対する意識がやや希薄な印象を持ちます。そこで、昨年11月と本年1月に、地域の防災リーダー（自治会・自主防災隊役員、民生委員など）を対象として、浜松市の「避難所運営ゲーム（HUG訓練）」を含む防災関連2講座を開催しました。

このような講座を通じて、災害時の被害を少しでも減らすことができればと思っています。令和8年度も防災関連の出前講座の開催を予定しています。



三方原地区コミュニティ協議会
会長 鈴木 登志郎

※ 地区コミュニティ協議会は、市内に50ある地区自治会連合会の区域を基本として、任意で設立することができ、市が認定します。さまざまな団体がつながりを深めながら、地域の課題について話し合ったり、意見を市に届けたりすることで、地域の課題解決や活性化を図っています。
（「広報はままつ（令和6年11月）」より引用）

第1回 大規模災害に備えて

令和7年11月23日 三方原協働センター ホール

「大規模災害に備えて」では、ハザードマップ上、三方原地域は、他の地域に比べ危険度は低いものの、大雨による低地の浸水、地震による停電等において、どのような対応が必要かについて意見を述べ合いました。



第2回 HUG訓練

令和8年1月17日 三方原協働センター ホール

HUG（ハグ）訓練とは、避難者の様々な事情が書かれた250枚のカードを、体育館などの平面図に配置し、避難所運営を模擬体験するゲーム形式の防災訓練（避難所運営ゲーム）です。静岡県が開発したもので、多様な人々への配慮や、次々と起こる課題への対応を各グループ内で話し合い



学ぶ事ができます。参加者の皆さんは、少しでも適切な判断をしようと悪戦苦闘していました。



編集後記

今年度も本紙をお読みいただきありがとうございました。

広報部会の活動を通じて、三方原地区の福祉に関わるさまざまな取り組みや思いを知ることができました。特に編集を通じて知った「家事・移動の支援」や、小学校での「原っ子タイム」からは、改めて人と人とのつながりの大切さを感じました。新年度が始まり、新しい一歩を迎える方も多いことと思います。本紙が、地域を身近に感じるきっかけとなっただけを願っています。

一年間、ありがとうございました。

～広報部会 白崎 篤～